

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 阿南 寿美子	職名 准教授	学位 修士 (教育学)
-----------	--------	-------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
幼児心理 幼児教育 保育者養成	社会的能力の発達 規範意識 いざこざ 保育観 子どもの学び 保育カンファレンス 保育記録

研 究 課 題
<p>幼児期の対人交渉場面において、乳幼児が規範意識や対人関係構築などの社会的能力をどのように獲得しているのかについて考察する。子どもの遊びの中における学び (育ち) の捉え方について考察する。</p> <p>保育者養成校の学生が、2年間の学生生活を通してどのように保育者として保育観や援助観が育まれて行くのかを考察する。</p> <p>保育の質を向上するための保育カンファレンスのあり方について考察する。</p>

担 当 授 業 科 目
<p>学校法人西南女学院 西南女学院大学短期大学部 保育科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の心理学 (前期) (1年生)</li> <li>・保育内容「言葉」 (後期) (1年生)</li> <li>・こどもの発達理解とあそび (複数担当教員) (前期) (2年生)</li> <li>・こどもの理解と援助 (前期) (2年生)</li> <li>・教育実習指導 (複数担当教員) (2年間通年) (1年生、2年生)</li> <li>・教育実習 I (複数担当教員) (通年・学外) (1年生)</li> <li>・教育実習 II (複数担当教員) (前期・学外) (2年生)</li> <li>・教育実習 III (複数担当教員) (後期・学外) (2年生)</li> <li>・保育・教職実践演習 (幼稚園) (複数担当教員) (後期) (2年生)</li> <li>・こども学基礎演習 (通年) (1年生)</li> <li>・こども学特別演習 (通年) (2年生)</li> </ul> <p>学校法人弘徳学園 姫路大学教育学部 こども未来学科 通信教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達心理学 (後期) (3年生) レポート試験</li> <li>・発達検査法 (後期) (4年生) レポート試験</li> </ul>

<p>授業を行う上で工夫した事項 (※助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)</p>
<p>授業科目名【保育の心理学】</p> <p>「保育の心理学」では子どもの発達の理解を目的として講義を中心に授業を展開した。その際、スライド等を使用し視覚的に講座内容を理解できるように配慮するとともに、学生のこれまでの保育体験や自身を振り返ることによって、具体的に場面を想起することができるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【こどもの発達理解とあそび】</p> <p>共同担当教員の演習で乳幼児の「遊び」を実際に体験し、感じたことを講座ごとに記録・振り返りを行った上で、指導案の作成指導を行った。「遊び」に関しては、従来体験型としていたが、今年度はオンラインによる授業であったため、テーマに沿った遊びをゼミごとに発表し、その遊びの展開における留意点等を口頭で伝えるという方法をとった。</p>

**授業科目名【こども学基礎演習】**

今年度はオンラインによる授業であった。前期は特に遠隔授業の相談や互いの学校生活についての話を行うことで交流を深めた。その後、喜久屋書店保育科コーナーの看板づくりやオンラインでできる簡単な遊びを通して、個人的活動及び集団での活動ができるように心がけた。

**授業科目名【こども学特別演習】**

オンラインによるゼミ活動となったため、実習に向けての教材準備や学生間の交流を中心に学生の状況を把握するための活動を行った。

**授業科目名【保育・教職実践演習（幼稚園）】**

様々な角度から保育をとらえる視点が育まれるように、現場保育者の実践事例検討を行った。また、模擬保育では、これまで授業や実習を通して学んだことを活かしながら、2人1組で指導計画を作成し、準備・実践までを行った。子ども役は保育者が要求する年齢の子どもを演じるために、子どもの姿を表現することが必要になる。観察者は客観的に保育全体を観ることが必要になる。これらを通して、学生自身に保育者としての意識が高まるように配慮した。

**授業科目名【教育実習指導】**

事後の指導において個人指導として個別面談、全体指導として報告会を行った。それにより他者の学びを自己と比較することによって個人の学びをより深め、課題を見出し次回につなげることができるようにした。また、事前指導においては教材発表の時間を設け、子どもたちへの提示の仕方等も含めての指導を行った。実習前の設定保育に関する指導講座を増やし、実習時に保育者の援助への捉え方が主体的になるように配慮した。報告会は1、2年生合同で行い、2年生よるスライドを用いた発表を中心に学生同士の学び合いがなされるよう取り組みを行った。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本保育学会	会員	2012年～
日本保育者養成教育学会	会員	2018年～
日本乳幼児教育学会	会員	2018年～

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文) 1. 乳幼児の発達を促す遊び-遊びの中で育まれる10の姿-	共著	2021年3月	福岡女学院大学紀要人間科学部第22号	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(2017年告示)に示されている10の姿に着目した。子どもの育ちは遊びが基盤となることから、集団遊びと個人遊びに焦点を当て、その中で育まれる力を10の姿と照らし合わせながらと捉えた。

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
2. 保育者養成校における保育者としての資質に関する調査 ～変数間の関連性の分析～	共著	2021年	西南女学院大学紀要VOL25	本研究では保育者としての資質に関わる要素として、保育観、子ども理解、共感性、社会性、援助観に注目し、要素間の関連性について検討することを目的とした。その結果、対人スキルや共感性が、保育者としての資質を整理するとき欠かせない要素であることが示された。保育観の形成には、共感性、対人スキル、援助規範意識などの影響がみられることが示されたが、今回の分析結果では、保育観のごく一部を説明するに過ぎない。保育観を形成する他の要因については今後明らかにしていく必要があるだろう。 <u>阿南寿美子・命婦恭子・篠木賢一・笠修彰・末寄雅美</u>
(翻訳)				

<p>(学会発表)</p> <p>1. 実習時における学生の困難事例についての検討～乳幼児との対応を中心に～</p>	共著	2020年5月	日本保育学会第73回大会(ポスター発表)	<p>平成31年保育士養成セミナー報告の学会発表である。実習時の困難事例を「生活」「あそび」「課業(課業的活動)」の3つのカテゴリーに分けて集計を行った。その結果、学生多くが遊び場面について困難を感じていることが分かった。遊びの種類では、構成遊びでのトラブルが最も多く、学生はその働きかけがうまくいかずに悩む場面が多くみられることが分かった。</p> <p>脇信明・古林ゆり・金子幸・上原真幸・阿南寿美子・島田知和・末寄雅美・藤本朋美</p>
<p>2. 保育者養成における保育者としての資質の変容に関する縦断的研究(5)</p>	共著	2020年5月	日本保育学会第73回大会(ポスター発表)	<p>本研究では、保育者養成校に在籍する学生の運動指導観の変容について調査し、「援助的運動指導観」と「計画的運動指導観」を二つのサブスケールに分けて分析を行った。その結果、いずれも3回目の調査で得点が低くなっていることが分かった。先行研究(保育者対象)と比較しても低くなっており、経験による差が影響していることが示唆された。</p> <p>篠木賢一・阿南寿美子・命婦恭子・笠修彰・末寄雅美</p>

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>3. 保育者養成における保育者としての資質の変容に関する縦断的研究(6)実習前後の遊び環境に対する理解の変容</p>	共著	2020年5月	日本保育学会第73回大会(ポスター発表)	<p>本研究では、実習体験を経た後に、遊び環境への理解の深まっているかに加えて、保育観、子ども理解の深まりとの関連についての分析を行った。その結果、遊び環境への理解が実習を経ることで深まっていることが分かった。また、入学時の遊び環境理解高群と低群では、低群の学生の理解が顕著に高まっていることが明らかとなった。</p> <p>末寄雅美・命婦恭子・阿南寿美子・篠木賢一・笠修彰</p>

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 。代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
九州保育者団体合同研究集会	北九州部会副委員長 分科会運営委員 第50回福岡集会副実行委員長	2012年4月～現在に至る 2016年～現在に至る 2019年～現在に至る
北九州市児童福祉事業第三者評価事業	専門委員	2016年4月～現在に至る
NPO 法人あゆみの森共同保育園	第三者委員	2018年1月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

教務委員会 副委員長（2020年4月～現在に至る）  
 入学試験会議委員（2014年4月～現在に至る）  
 西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園運営委員（2016年4月～現在に至る）  
 短期大学部第三者評価ALO（2016年～現在に至る）  
 認定絵本士資格講座責任者（2018年～）  
 2020年度ガイダンス等（2回）他